

# 月刊 工連 ニュース

OKINAWA INDUSTRIAL FEDERATION NEWS



沖縄県産品マーク

成長戦略としての  
沖縄の「ものづくり産業」を考える

- ボイスシリーズ  
フィジー共和国に沖縄の機械装置・技術を!
- 「元気カンパニー」沖縄製粉(株)
- 2015年 県産品奨励月間標語・工連表彰等受賞者決定
- 平成27年度 新入社員研修セミナー開催

2015  
**5**月号

Vol.606

# 沖縄ガス ショールーム

沖縄ガス ショールーム

ゆ〜くる

# YOU-KURU



## 1F▶ 展示スペース

- ガスコンロ展示スペース
- システムキッチンコーナー
- ウィズガスハウス
- 比較・実演コーナー
- キッズスペース&授乳室
- ミストサウナ体験コーナー
- 「涼風」ブース
- 創エネ・省エネコーナー

## 2F▶

クッキングスタジオ・セミナー室・会議室

広々スペースに最新の商品を随時展示中。  
ガスのある快適な暮らしをご提案いたします！



「ゆ〜くる」へのお問合せはこちら

沖縄ガス ショールーム

ゆ〜くる

☎(098)

# YOU-KURU

## 863-7750

(ショールーム)

沖縄ガス

検索

開館時間：10:00～17:00

休館日：毎月第3水曜日・GW(5月3日-5日)・旧盆(ワークイ)・年末年始



沖縄県那覇市西3-13-2

TEL:098-863-7730 (代表)

contents

- 2p** voice vol.105  
**フィジー共和国に沖縄の機械装置・技術を!**  
株式会社沖縄TLO 代表取締役社長 玉城昇
- 3p** **2015年 県産品奨励月間標語決定**  
**工連表彰等受賞者決定**
- 4p** **第49回 オグレスビー氏工業功労者賞及び**  
**工連表彰受賞者**
- 5p** **平成27年度 新入社員研修セミナー**  
(公社)沖縄県工業連合会
- 6・7p** **キラリ! 元気カンパニー「沖縄の北極星 ニヌファブシ」**  
**歴史と革新で沖縄県民の食卓支える**  
沖縄製粉株式会社
- 8p** **平成27年度 ものづくり等支援制度説明会**  
(公社)沖縄県工業連合会
- 9p** **地理的表示保護制度に関する説明会**  
内閣府沖縄総合事務局 農林水産部
- 10p** **「オグレスビー氏産業開発基金・奨学金」授与式**  
沖縄工業高等専門学校

- 11p** **機械の新設・増設・更新をお考えの皆様へ**  
**割賦・リース制度**  
**(機械類貸与制度)のご案内**  
(公財)沖縄県産業振興公社
- 12p** **沖縄高専だより**  
**平成27年度 入学式を挙行いたしました**  
**「平成27年度 沖縄工業高等専門学校**  
**産学連携協力会理事会・総会・懇親会」を**  
**開催しました**
- 13p** **沖縄職業能力開発大学校**  
**～新校長のご紹介～**
- 14p** **琉球大学工学部後援会からのお知らせ**  
**波力および潮流による海洋エネルギー**
- 15p** **工業技術センターだより**  
**硬く、崩れる錠剤状食品をつくる!?**
- 16p** **トピックス**  
**2015年 泡盛の女王が訪問**  
**沖工連青年部会員募集**  
**会員募集のご案内**  
**会員の皆様へ**

2015 APRIL **4** 工連日誌

- |  |   |
|--|---|
| <p><b>2日(木)</b> 4月定例執行部会<br/>●時間/12:00~13:30 ●場所/工連会議室</p> <hr/> <p><b>16日(木)</b> 平成27年度 ものづくり等支援制度説明会<br/>●時間/14:00~16:00 ●場所/沖縄産業支援センター</p> <hr/> <p><b>17日(金)</b> 2015年 県産品奨励月間標語選定審査会<br/>●時間/10:00~12:00 ●場所/沖縄産業支援センター</p> <hr/> <p><b>22日(水)</b> 平成26年度 事業の会計監査<br/>●時間/11:00~12:00 ●場所/工連会議室</p> | <p><b>23日(木)</b> 2015年 県産品奨励月間ポスター制作説明会<br/>●時間/11:00~11:30 ●場所/沖縄産業支援センター</p> <hr/> <p><b>24日(金)</b> 平成27年度 新入社員研修セミナー<br/>●時間/09:30~15:30 ●場所/沖縄産業支援センター</p> <hr/> <p><b>30日(木)</b> 5月定例執行部会<br/>●時間/12:00~13:30 ●場所/沖縄産業支援センター</p> |
|--|---|

特許等取得活用支援事業

# 知財総合支援窓口

中小企業など知的財産の有効活用をアドバイスします。

## ワンストップサービス

秘密厳守

相談無料

- 知財専門家が窓口へ常駐
- 知財専門家を派遣
- 知財ニーズの発掘
- 知財に関する支援策の紹介
- インターネット出願を支援

個別対応のため予約が必要です



**0570-082100** (有料)

窓口運営時間...8:30~17:15 (月~金) ※窓口支援担当者が常駐しています。

※電話、インターネットでお申込ください。  
※ご相談頂いた内容は守秘義務により保護されます。

■内閣府沖縄総合事務局委託事業 /

実施：一般社団法人沖縄県発明協会

☎ **098-921-2666**

公益社団法人沖縄県工業連合会は「沖縄の産業まつり」や「県産品奨励月間」などの活動を通して、沖縄経済の自立化を目指しています。

●工連ニュースへのご意見ご要望をお待ちしております。Eメールでもご参加ください。  
E-mail/info@okikouren.or.jp ホームページ/http://www.okikouren.or.jp

発行所 / 公益社団法人 沖縄県工業連合会  
那覇市字小嶺1831-1 沖縄産業支援センター6F  
電話 (098) 859-6191 FAX (098) 859-6193  
編集・印刷 / 有限会社サン印刷 電話 (098) 889-3679

## フィジー共和国に 沖縄の機械装置・技術を！

昨年度、県内企業の汚濁水処理装置の海外島嶼地域への展開可能性調査プロジェクトに関わらせてもらった。対象製品の特徴は、「小規模・オンサイト・島嶼型」で汚濁水の発生現場に設置できることとあり、有望地域の1つとなったフィジー国内では、公共汚水処理場や、製糖工場、食品加工業、畜産業、鉱業、クリーニング業、アイランドリゾートホテル等で発生する汚濁水処理に適用可能であり、ニーズの存在も確認できた。次なる課題はこのニーズにどう対応し、事業化して行くかである。

ところで、「沖縄発」でフィジーに適用できる機械装置・技術は他にも相当にあると思われた。サトウキビ収穫用ハーベスター、農業用ピニールハウス、農作物害虫捕獲器、柑

橘類搾汁機、小型ゴミ焼却炉、風力発電設備、残飯等肥料化装置等々である。これらは、沖縄県の島嶼性や市場規模の狭小性、気象条件等に起因する様々な不利条件の下で研究開発・実用化されてきた独自の技術・製品である。

「売れる」製品があるとすると、問題は「どのように売るか」である。1社ごとに、それぞれがフィジーに向いて行つて市場調査↓ニーズ把握↓顧客探し↓販売交渉↓契約・導入↓設置・運用支援↓メンテナンス等の一連の業務をこなしていくとなると、かなりの手間と費用を伴う。つまり、県内のものづくり系企業の多くは、経営規模的に小規模零細であり、このような市場調査から始まる一連の先行投資的活動の費用を負担する資力に乏しく、か



株式会社 沖繩T.L.O.  
代表取締役社長  
玉城 昇

つ、海外展開の経験・ノウハウを有しているところもほとんどなく、人材の確保・育成も追いつかない、というのが実情である。このような個々の力量の乏しさを克服する1つの手立てとして、フィジーに輸出できる可能性のある製品を有している企業でコンソーシアムなり事業協同組合を設置し、そこで海外ビジネス展開の知見や実績のある人材を確保し、参画企業の製品のフィジーへの普及・展開を一手に引き受ける、という方式である。すなわち、「商社的機能」を有する組織の設置・運営である。食品や工芸品等の最終消費財の分野では沖縄県物産公社が産地問屋として、本土市場及び海外市場の開拓に多大な役割を果たして来ているのは周知の通りであるが、機械・装置系の分野

では残念ながら、まだ同様な役割を果たしているとは言えそうにもない。ここでの商社は、機能論的及び事業展開論的には物産公社にならうイメージで良いと思う。フィジーで成功すれば、そこを拠点として近隣太平洋島嶼地域への事業展開を進め、さらなる市場拡大を図って行けばよい。

ここでのテーマ設定は、まだ限られた経験にもとづく私論の域を出していない。引き続きさらなる情報収集を通して、あるいはその可能性についての議論・勉強の場を設けて沖縄のものづくり産業の海外展開による市場拡大戦略としての有効性を見極めた上で、具現化して行ければと願っている。ご意見をいただければ幸いである。

## 2015年 県産品奨励月間標語決定

# 標語「あ、いいね! 使って納得 県産品」

「2015年県産品奨励月間」標語選定審査会が4月17日(金)、沖縄産業支援センターで行われた。

7月1日からスタートする同事業は、県産品の愛用を啓発し、地場産品を使用することにより産業の振興・活性化はもとより、雇用の創出ひいては県経済の発展に寄与することを目的に実施します。

今年は、591点の標語の応募があり、8名の審査委員で構成された選定審査会の下、「あ、いいね! 使って納得 県産品」が最優秀賞に選ばれた。

審査委員からは、「県産品を使ってほしいという想いと製品の品質向上がよく表現できている」、「現在にマッチした標語で語感も良い。島産品の時代から県産品が向上している歴史を踏まえているようにも感じられる」、「フェイスブックを始めSNSで流行の‘イイネ、’を取り入れ今風の標語に仕上がっており、若い人にも興味を持ってもらえる標語である」、「親しみが持て時代に合っており、広く県民にPRできる標語である」、などの講評があった。最優秀賞に選ばれた標語は、10月に開催される「第39回沖縄の産業まつり」のテーマとしても使用される。

### 最優秀賞 1点

「あ、いいね! 使って納得 県産品」

■ 仲村 留美子/沖縄県土地対策課

### 優秀賞 2点

「かなさん うむさん 県産品」

■ 古味 竜一/(株)宣伝

「しまんちゅの わざとちむ光る 県産品」

■ 大城 由美子/与那原町与那原

### 奨励賞 3点

「県産品 いつもあなたを 支えている」

■ 豊原 広隆/海洋プランニング(株)

「使うほど うれし誇らしや 県産品」

■ 屋嘉比 守/沖縄県学校給食会

「うちなあを マルッと元気に 県産品」

■ 大城 正直/沖縄高速印刷(株)

### 標語選定審査委員 (順不同)

湖平 芳和[(株)琉球新報社 編集局長]  
 崎濱 秀光[(株)沖縄タイムス社 編集局次長]  
 金城 剛 [JAおきなわ 専任部長]  
 仲村 善邦[金秀商事(株) 執行役員]

山城 宝 [(公社)沖縄県工業連合会 食品関連産業副会長]  
 眞志喜 実[(公社)沖縄県工業連合会 建材関連産業部会長]  
 金村 禎和[沖縄県商工労働部ものづくり振興課班長]  
 桑江 修 [(公社)沖縄県工業連合会 専務理事]

## 工連表彰等受賞者決定 ～平成27年度総務委員会～

工連表彰及びオグレスビー氏工業功労者賞について審査を行う総務委員会(執行部及び各部長で構成)が4月2日(木)那覇市のホテルロイヤルオリオンで開催された。

今年度の工連表彰には優良従業員賞に53社91名、優秀技能者賞に12社12名、創意工夫功労者賞に10社6名4グループの推薦があり、総務委員会の審査において、各賞の受賞者が決定した。また、沖縄の工業発展に功績のあった人材に贈られる第49回オグレスビー氏工業功労者賞には2名の推薦があり、審査の結果、委員の満場一致で授与が決定した。

審査で選ばれた受賞者には、平成27年6月10日(水)に開催する第31回定時総会で表彰式が行われ、その席で表彰状並びに記念品が授与される。

### オグレスビー氏工業功労者賞及び工連表彰審査基準

#### ■ オグレスビー氏工業功労者賞

- ① 企業を興し、成功した者。
- ② 新製品を開発して成功した者。
- ③ その経営する企業によって沖縄経済に大きく貢献した者。
- ④ 人格高潔なる者。
- ⑤ 工連の理事・監事を経験したか、或いは現職の者。
- ⑥ 他の経済団体・組合等で役員を経験した者。

#### ■ 優良従業員賞

- ① 永年勤続者(入社10年以上)で他の従業員の模範であること。
- ② 推薦の枠は従業員が50名以下は1名、50名以上は2名、500名以上は3名、1,000名以上は4名まで推薦可能。

#### ■ 優秀技能者賞

- ① 社内における優秀な技能の持ち主で、実績顕著な者であること。
- ② その技能において5年以上の経験者であること。
- ③ 技能を証明することが確認できること。
- ④ 推薦枠は1社1名。

#### ■ 創意工夫功労者賞

- ① 職場内における創意工夫功労者で、実績顕著な者であること。
- ② 創意工夫の内容と実績が確認できること。
- ③ 推薦枠は1社1名または1グループ。

# 第49回 オグレスビー氏 工業功労者賞および工連表彰受賞者

第49回  
オグレスビー氏工業功労者賞受賞者

澤岷 カズ子 氏  
株式会社御菓子御殿／代表取締役会長

新城 博 氏  
株式会社トリム／代表取締役会長

## ■優良従業員賞受賞者(53社/91名)

氏名	会社名
伊計 恵蔵	(株)多良川
宮國 正幸	拓南鐵建(株)
麻生 学	(株)おきさん
金良 宗賢	沖電水工事(株)
宮内由紀子	(株)沖繩環境保全研究所
西山 桂一	(株)沖繩環境保全研究所
島袋 幸江	(株)マルキン海産
長嶺 悦子	(株)マルキン海産
島袋 賢治	琉球協同飼料(株)
安里 元政	東洋コンクリート(株)
中西 誠	東洋コンクリート(株)
齊藤夫美雄	(株)ざまみダンボール
宮城 安男	(株)ざまみダンボール
比嘉 政則	金秀鉄工(株)
中村 武志	金秀鉄工(株)
大仲 孝	沖電企業(株)
与那国 清	沖電企業(株)
與儀 達由	光文堂コミュニケーションズ(株)
保久村道子	光文堂コミュニケーションズ(株)
國吉 淳	総合紙器(株)
赤嶺喜美枝	総合紙器(株)
武島 千浩	沖繩ガス(株)
久手堅憲文	沖繩ガス(株)
浜川 彦一	BX沖繩文化シャッター(株)
新垣 幸治	(株)技建
城間 明	沖繩ガルバ(株)
上原 清	金秀アルミ工業(株)
與儀 直	金秀アルミ工業(株)
大城 順治	沖繩プラント工業(株)
玉城 周明	沖繩プラント工業(株)
徳田 将光	(株)沖電工

氏名	会社名
仲元浩太郎	(株)沖電工
平良 信全	リウコン(株)
上間 真次	リウコン(株)
名渡山新也	金秀鋼材(株)
与那嶺 守	金秀鋼材(株)
松田 智昭	昭和製紙(株)
知念 禎之	昭和製紙(株)
宮城 隼人	沖繩テクノクリート(株)
宜野座隆太	沖繩テクノクリート(株)
比嘉 勉	沖繩電力(株)
大城 幸也	沖繩電力(株)
西原 隆仁	琉球セメント(株)
島袋 和宏	オキコ(株)
知念 隆行	オキコ(株)
新垣 須直	まさひろ造産(株)
國吉 武志	沖繩コカ・コーラボトリング(株)
大城 勝則	沖繩コカ・コーラボトリング(株)
桑江 進	沖繩明治乳業(株)
岸本 学	オリオンビール(株)
志良堂 学	オリオンビール(株)
上門 勝治	(株)仲本工業
与古田 晃	(株)仲本工業
宮平 将樹	大和コンクリート工業(株)
大城 克也	南西石油(株)
儀間さやか	(有)沖繩長生薬草本社
新垣裕美子	(有)沖繩長生薬草本社
山田 義勝	丸正印刷(株)
上原 直人	丸正印刷(株)
仲宗根伸也	(株)久米島の久米仙
大益 秀樹	(株)仲善
大城 彦宗	(株)仲善

氏名	会社名
天 願 幹	沖繩ハム総合食品(株)
大城 雅稔	沖繩ハム総合食品(株)
新垣 一彦	(株)沖繩ホームル
新垣ひとみ	(株)沖繩ホームル
山川 宗雄	沖繩ピーシー(株)
新里 健	拓南製鐵(株)
大城 俊彦	拓南製鐵(株)
玉 城 剛	拓南商事(株)
宜野座則雅	拓南商事(株)
阿嘉 宗博	拓南伸線(株)
渡慶次美幸	拓南伸線(株)
比嘉 達夫	那覇鋼材(株)
与志平 学	那覇鋼材(株)
仲村渠信吾	(株)正広コーポレーション
多和田真艶	沖繩製本(株)
稲 嶺 浩	沖繩ツーリスト(株)
宮里 兼友	沖繩ツーリスト(株)
砂川 恵一	沖繩ツーリスト(株)
上原清次郎	沖繩ガスリビング(株)
平良 浩樹	(株)ミヤギパッケージ
金城 祐子	(株)琉球銀行
田場るみ子	(株)琉球銀行
末 吉 恵	(株)琉球銀行
伊良部幸美	(株)琉球銀行
西平 礼子	(株)沖繩銀行
知念 郁子	(株)沖繩銀行
翁長 文雄	(株)沖繩銀行
仲井間宗久	(株)沖繩銀行
嘉数 正信	(株)アドスタッフ博報堂

## ■優秀技能者賞受賞者(12名)

氏名	技術の名称・会社名
玉城 幸雄	火葬施設技術継承者 ●(株)開邦工業
福元 慎二	廃ガラス再資源化プラントシステムの操作全般 ●(株)トリム
呉屋 良秀	溶接技術を使った特殊建具部材の製作 ●金秀アルミ工業(株)
喜納政一郎	多様な工法に精通し営業職と施工管理の責任を果たす ●リウコン(株)
新垣 武治	セメントの品質管理および環境管理システムの構築運用 ●琉球セメント(株)
比嘉 玲貢	フィールドサービス技術職 ●沖繩コカ・コーラボトリング(株)
末吉 一哉	ビール醸造に伴うエンジニアリング技術 ●オリオンビール(株)
美差 俊彦	溶接工 ●(株)仲本工業
安慶名國男	コンクリート二次製品工場における電気技術者 ●大和コンクリート工業(株)
嘉陽 宗作	DCSにおける運転支援制御御関連技能&DCS運転画面関連技能 ●南西石油(株)
宮城 正信	ハム・ソーセージ製造 ●(株)沖繩ホームル
玉城 齊	生産設備保守保全技術 ●拓南製鐵(株)

## ■創意工夫功労者賞受賞者(10社 6名/4グループ)

氏名	技術の名称・会社名
グループ花火	充填ノズルの改良 ●(株)マルキン海産
安谷屋秀太	生産性向上活動 ●BX沖繩文化シャッター(株)
玉那覇昌保	アルミ形材加工金型の流用、再利用による生産性の向上 ●金秀アルミ工業(株)
新垣 純	販売システム及び原価システムの改良と管理体制の構築 ●リウコン(株)
ブラスティング サークル	砕砂クラッシャーの故障低減 ●琉球セメント(株)
安里 恭平	コカ・コーラ160ml 歩留り向上 ●沖繩コカ・コーラボトリング(株)
宮城 智	レジンコンクリート型枠製作における独自開発 ●大和コンクリート工業(株)
加藤 慎平	マグネットポットの新設 ●南西石油(株)
拓南・沖繩船大 合同チーム	自動ガス切断機の開発 ●拓南製鐵(株)
TPMサークル 「コンダサークル」	EF・BFシートの割れ、折れの改善 ●(株)ミヤギパッケージ

# 平成27年度 新入社員研修セミナー

平成27年4月24日(金)

(公社)沖縄県工業連合会



グループに分かれ、ひとつのテーマに対しての議論・成果発表のほか、ビジネスマナーなどの実践的なトレーニングも行われました。

これからの沖縄県の未来を担う新入社員が、1日も早く社会に適応するための第一歩として沖縄県工業連合会主催によって新入社員研修セミナーが那覇市の沖縄産業支援センターにて開催されました。

社会人としての認識と責任感を高めるため、新入社員の心得と一般的なビジネスマナーを身につけることにより、離職率の高い若年者の雇用安定を目的に毎年行われているものであり、本年度も各企業から53名の新入社員が参加しました。

主催者を代表して、沖縄県工業連合会副会長であり人材育成委員会委員長長仲田龍男氏が挨拶し、「厳しい経済状況の中を勝ち抜いていくためには若い社員の力が必要」と新入社員を激励しました。

株式会社目加田経営事務所部長・チーフコンサルタント根橋弘行氏が講師を務めるセミナーでは、様々な企業のコンサルティング経験を基に、「伸びる新入社員とは」をテーマとした講義が行われました。根橋氏は、めまぐるしく変化する社会環境に対応しながら、トレンドをしっかりとらえた商品力と古くから変わらない一般

常識や心配りのどちらもプロとして必要とし、社会人としての基本姿勢と基本動作について講じました。

また、参加者を複数のグループに分け、互いに意見を交わし合いながら討議するグループ討議も行われ、リーダー役を中心に「プロフェッショナルとは」をテーマに議論を進め、成果を発表しました。

さらに、参加者同士で名刺交換や接客対応をしながら正しいマナーを身につける実践的なトレーニングも用意され、参加した新入社員たちはたどたどしいながらも真剣な様子でマナー習得に積極的に取り組んでいました。

セミナーの最後には各自レポートも執筆し、セミナーで得た知識をまとめました。ビジネスマナーと心構えについて基礎から学べる機会は参加者にとって貴重なものとなったようで、春から工業関連の企業ですでに業務を開始している新入社員は、「大学では得られなかった実践的なスキルがすべて自身にとってプラスになった。さっそくこれからの業務に活かしたい」と感想を述べていました。



株式会社目加田経営事務所  
コンサルタント  
知念諭氏



株式会社目加田経営事務所部長  
チーフコンサルタント  
根橋弘行氏



(公社)沖縄県工業連合会副会長  
人材育成委員会委員長  
仲田龍男氏



# 歴史と革新で 沖縄県民の食卓支える



沖縄製粉株式会社  
代表取締役社長 竹内 一郎



一般家庭で食される揚げ物などの料理や伝統菓子の素材となるミックス粉のほか、機能性食品の製造もおこなっています。



## 県内唯一の製粉メーカー 地元密着へのこだわり

昭和30年、戦後復興期に「沖縄県民への食の安定供給」を理念に掲げ、県内初の製粉メーカーとして沖縄製粉株式会社が設立されました。当時、小麦粉はすべて外国（日本を含む）からの輸入に頼っており、品薄による価格上昇や二次加工業の操業が不安定といった問題がありました。創業者であり現社長の祖父にあたる竹内和三郎氏は、地場産業の発展と食の安定供給のため沖縄製粉を設立。製粉事業を通じて県民の食生活の向上に務めました。

平成22年に新社長に就任した竹内一郎氏は、食生活が大きく変化し、飽食の時代とされる現代だからこそ、沖縄の伝統的な食文化への原点回帰の必要性を感じているといいます。創業当時からの変わらぬ理念を守りながら、近代的なライフスタイルを意識した商品開発によって、食の大切さを発信していきたいと語ります。

「核家族化が進み、偏った食事や孤食が問題視されています。当社では、サービスセンターの施設を利用し、家族で料理をすることを通して食に親しんでいただければと、親子で一緒に楽しめるパン作り教室や沖縄そば作り教室を夏休みに開催しています」

親子で手軽に調理できるミックス粉のシリーズも食育に貢献する主力商品となっています。「サーターアングギーミックス」や「ちんびんミックス」、「ひらやーちーミックス」は沖縄の伝統菓子や料理が簡単に作れると幅広い層に支持されています。

「ミックス粉を開発・販売した当初は、『いつでも自宅で作れるサーターアングギーのミックス粉なんて誰が買うのか』と商品価値を疑う声も少なくなかったと





ニモファブシ(北極星)とは、航海の舟、船の進むべき方向を照らし、教える重要な星ということと、「世の中の目標となる星になりなさい。」という意味も持つ沖縄のことばです。



那覇市通堂の製粉工場では、厳しい管理体制のもと熟練のスタッフが製品の製造・品質管理を行っています。



沖縄製粉プロデュースの那覇市牧志のパラダイス通りにできたBALL DONUT PARK (ボールドーナツパーク)。

## 沖縄製粉株式会社

業 種 小麦粉・ふすまの製造、販売  
乾麺の製造、販売  
健康食品及びその他食品の開発と製造、販売  
一般食品の仕入れ、販売  
ポトルドウォーターの製造  
プレミックスの製造、販売

設 立 昭和30年10月

代 表 者 竹内一郎

住所・連絡先 本社：沖縄県那覇市通堂町1番1号  
TEL：(098)868-3141 (代表)  
FAX：(098)868-8279

オフィシャル http://www.okifun.com/index.jsp  
サ イ ト

聞きましたが、実際に市場へ出してみると驚くほどの売れ行きを見せました。もつと手軽に作りたいたいという消費者の要望は確実に存在し、そのニーズに商品が合致した例です」と竹内氏は語ります。定番商品のみならず、良質な素材にこだわった「じょーとーむんアンダギーミックス 紅芋」など、新商品も次々に開発。好評を得ています。

「商品開発部門には優秀なスタッフが揃っており、わたしの仕事は最終的な判断を下すことです。小麦粉、ミックス粉のみならず、乾麺やウコン商品など、新しいアイデアを形にする作業が日々行われています」

現在、事業所、子会社等含めると2000人を越える従業員を抱える沖縄製粉株式会社。竹内氏は営業、製造、総務にいたるまですべての部署に目を配り、若手のスタッフともコミュニケーションを取る重要性を感じています。

## ブランド力活かし 新規事業に挑戦

「どんな立場のスタッフでもすぐれたアイデアや技術があれば即座に取り入れるべきだ」という考えを浸透させています。上司が部下に考えを押し付けるのではなく、互いに相談しながら仕事を進める体制作りを注いでいます」

「沖縄唯一の製粉メーカーとしての歴史にあぐらをかいてはいけません」と竹内氏は語り、「守り」だけでなく、「攻め」の体制にもこだわります。

平成25年にベーカリー事業を開始。ベーカリーショップ「Simotacomo」をオープンしました。「当社は製パンに関するノウハウの蓄積はありますが、現場のニーズを捉えることが難しかった。実際にパンを製造し、お客様に直接提供する現場の

感覚を身に付けることが重要だと考えました」という竹内氏の強い意志により新事業が実現。外部からの人材も積極的に受け入れたことにより、技術力向上につながったといえます。

さらに昨年には那覇市パラダイス通りにドーナツカフェ「BALL DONUT PARK (ボールドーナツパーク)」をオープン。沖縄製粉の小麦粉を使用して作られるひとくちサイズのドーナツに様々なトッピングをして提供する店舗で、観光客はもちらん地元のリピーターも増加しているといえます。

「店舗はナチュラルなインテリアで統一し、あえて沖縄製粉のブランドイメージを大きく打ち出すことは避けています。おいしいドーナツを食べたいだけというシンプルなコンセプトにこだわりたいと考えています」

直営店のメリットは、直接お客様の声を聞き、反応を感じられる点。その分、改

善・改良のスピードアップにもつながり、開発力の向上にも寄与しています。今後はさらに地域との連携を深めた新しい分野にも挑戦したいと竹内氏は意欲を高めています。

「当社では製粉業の売り上げが7割を越えております。しかし製粉だけに依存している状況では、いざれ危機にさらされる可能性もある。製粉を中心とし、第一、第三の柱を作るべく、事業の多角化を推進していきます」と語る竹内氏。宮古島産の紅芋ベーストを香港へ輸出するなど、グローバルな展開にも力を入れています。

「沖縄には県外・国外にはあまり知られていない良質な素材が数多くあります。そのような魅力的な素材を加工して県外・国外へ発信することによって、県経済発展に貢献することも、メーカーとしての当社の役割のひとつだと考えています」と、創業当時の理念に忠実に、今後のさらなる躍進を誓いました。

平成27年度

# ものづくり等支援制度説明会

平成27年4月16日(木) (公社)沖縄県工業連合会



(公社)沖縄県工業連合会  
専務理事 桑江 修氏

国、県及び各支援機関における平成27年度の目玉となる施策を紹介し、それを活用することによって企業の業績拡大に結び付けることを目的に、公益社団法人沖縄県工業連合会主催による平成27年度ものづくり等支援制度説明会が4月16日沖縄産業支援センター3階中ホールにて開催されました。

当日は加盟企業から50名を越える参加があり、各支援制度担当者による説明に耳を傾けました。

ものづくり基盤技術強化支援事業(株式会社沖縄TLO 主幹コンサルタント 大城朋氏)、戦略的製品開発支援事業(沖縄県産業振興公社 産業振興課プロジェクトマネージャー 小河晋悟氏)、中小企業資金等、設備資金・運転資金貸付制度(沖縄振興開発金融公庫 中小企業融資第一班参事役 中村あやの氏)、沖縄ものづくり振興ファンド(沖縄県産業振興公社 産業振興課主任 外間正樹氏)、機械類貸与制度(沖縄県産業振興公社 融資課主任 上原聡志氏)、ものづくり・商業・サービス革新補助金(沖縄県中小企業団体中央会 新補助金(沖縄県中小企業団体中央会

沖縄地域事務局プロジェクトマネージャー 仲宗根悠氏)、沖縄県正規雇用化促進モデル事業(沖縄県中小企業診断士協会 専任コーディネイター 比嘉博氏)といった様々な支援制度やプロジェクトについて、詳細な説明がなされ、中には現在モデル企業を募っているプロジェクトもあり、参加者の関心も高まったようでした。

(公社)沖縄県工業連合会 桑江専務理事は、主催者を代表しての挨拶として、「沖縄の経済発展には県内企業の躍進が必須条件であり、企業力を向上させるためにも国や県が予算を投じた支援制度を有効活用すべき」と述べ、制度活用を推進する姿勢をあらためて示しました。

説明会閉会後には個別相談の時間も設けられ、各支援制度担当者に直接相談しながら支援制度利用について検討する参加者の姿も多く見られました。

参加した製造業職員は、「中小事業者向けに設定された制度も多く、これまでコスト面等が課題となり実行できなかつた商品開発や新規事業創出に際しても実現できるだけの希望が湧いた。公募の情報や各支援制度の条件、メリット等を考慮し、具体的な戦略を練りたいと思う」と話し、「大きな収穫だった」と大変満足したようでした。



ものづくり基盤技術強化支援事業  
株式会社沖縄TLO  
主幹コンサルタント  
大城 朋氏



戦略的製品開発支援事業  
沖縄県産業振興公社  
産業振興課  
プロジェクトマネージャー  
小河晋悟氏



中小企業資金等、設備資金・  
運転資金貸付制度  
沖縄振興開発金融公庫  
中小企業融資第一班参事役  
中村あやの氏



沖縄ものづくり振興ファンド  
沖縄県産業振興公社  
産業振興課主任  
外間正樹氏



機械類貸与制度  
沖縄県産業振興公社  
融資課主任  
上原聡志氏



ものづくり・商業・  
サービス革新補助金  
沖縄県中小企業団体中央会  
沖縄地域事務局  
プロジェクトマネージャー  
仲宗根 悠氏



沖縄県正規雇用化  
促進モデル事業  
沖縄県中小企業診断士協会  
専任コーディネイター  
比嘉 博氏



# 地理的表示保護制度に関する説明会

平成27年4月21日(火) 那覇第2地方合同庁舎

平成26年6月18日に「特定農林水産物等の名称の保護に関する法律(地理的表示法)」が成立し、平成27年6月1日より施行予定で、地理的表示保護制度の運用が開始されることとなっています。6月1日より申請の受付が開始されるとあり、施行日に先駆け、制度の内容について産地関係者の理解を深め、登録申請の具体的な方法を案内するための説明会が全国各地で開催されており、沖縄ブロックでは4月21日(火)那覇第2地方合同庁舎1号館大会議室にて開催されました。

地理的表示とは、農林水産物、食品等の名称であつて、その名称から当該産品の産地を特定でき、さらには産品の品質等の確立した特性が当該産地と結びついている事実を特定できるものについて適用されます。これらの

地理的表示を知的財産として登録し、保護するために策定されたのが地理的表示保護制度です。すでに国際的に広く認知されており、世界100か国を越える国で保護されています。日本においても、「地理的表示を生産地や品質などの基準とともに登録し、不正な地理的表示の使用を行政が取り締まることにより、産品の品質向上やブランド力強化につながるものとして、このたびの制度創設がジャバンプランドの価値向上に大きく寄与することが期待されています。

申請受付開始を目前とした説明会には農業、水産業等様々な分野から多くの参加者が足を運び、地理的表示の登録手続や審査基準等について質問がありました。説明会では、内閣府沖縄総合事務局

農林水産部長 幸田淳氏の他、農林水産省食料産業局新事業創出課課長補佐藤田裕一氏も来沖し、地理的表示保護制度申請者ガイドラインを用いて地理的表示登録申請方法や活用ガイドラインを紹介。藤田氏は「沖縄の豊かな自然環境が育む農林水産物は独自の特徴を持ち、注目度も高い。地理的表示保護制度を活用し、地域ぐるみで産地活性化を図ることで経済的な発展にもつながると、制度への理解を求めました。必要があれば九州ブロックより担当者が直接沖縄県内の

企業を訪問し、申請についてのアドバイスも可能とし、充実した支援体制が確立されていることから、参加者の制度活用への関心も高まったようでした。



農林水産省食料産業局  
新事業創出課  
課長補佐 藤田裕一氏



沖縄総合事務局農林水産部  
部長 幸田淳氏



沖縄総合事務局農林水産部  
大城考安氏

# 「オグレスビー氏産業開発基金・奨学金」授与式 ～沖縄工業高等専門学校～



(公社)沖縄県工業連合会 湧川昌秀会長より(写真左)、国立沖縄工業高等専門学校 安藤安則校長(写真右)に奨学金が依託されました。

沖縄高専では、4月4日(土)同校校長室において、平成26年度オグレスビー氏産業開発基金・奨学金の授与式が行われた。

同奨学生に選ばれた学生は、機会システム工学科の安元康貴君。当日は、湧川工連会長より同校の安藤安則校長に委託を行い、その後、安藤校長より安元君

へ奨学金が授与された。

オグレスビー氏産業開発基金は、沖縄の工業発展に大きく貢献した故サムエル・C・オグレスビー氏の貢献を永く祈念するために1987年に設立。

当基金では次世代を担う学生を対象に奨学金を交付している。



オグレスビー氏産業開発基金・奨学金の授与を受けた同校 機械システム工学科の安元康貴君(写真中央)

## 【推薦内容】

安元康貴君は、将来機械系の技術者になるべく本校に入学した学生です。

日々の学習態度や寮での生活態度は優秀で学業成績はトップクラスであり、自分の学習だけではなく友人からの質問等にも丁寧に答える等、クラスの取りまとめ役として学友や教職員からの信頼も厚い学生です。

課外活動では、サッカー部の副キャプテンとして部の取りまとめにも熱心に活動しており、文武両道を目指すべく日々活動しております。

安元君の修学態度や生活態度は本校の学生として見本となるもので、将来良識ある技術者として社会で活躍できる資質を備えたものとして確信しております。

よって安元君をオグレスビー氏委託給与奨学金学生として推薦いたします。

# 機械の新設・増設・更新をお考えの皆様へ

～割賦・リース制度（機械類貸与制度）のご案内～

より使い易くなりました！（平成27年度より）

## POINT 1 金利は1.9%～2.9%です！

※割賦販売の場合（基準金利は2.3%です）  
※財務状況等により、金利が決まります。

## POINT 2 元金据置をご利用できます！

※据置期間は1年・6ヶ月・据置なしから選択することができます（割賦販売のみ）

## 割賦・リース制度（機械類貸与制度）の詳細

### ご利用対象者の方

- 県内中小企業で原則1年以上業歴を有すること（一部対象外業種あり）

### 対象となる設備

- 県内の自社内に設置し、自社で使用する新品の設備・機械等（中古は対象外です）  
※300万円から8,000万円までの金額であること（特認制度あり）  
※構築物や機械設備の設置費用は含まれません

……対象となる機械等設備は、様々です。個別にお問い合わせください。……



検査装置



蒸気ボイラー



フォークリフト



冷凍車

### 貸与条件

	割賦販売	リース
金利	1.9%～2.9%（基準金利2.3%） ※財務状況等により金利が異なります	1.337%～2.986%（月額リース料率） ※財務状況等によりリース料率が異なります
融資期間	7年以内（元金据置期間1年以内）	3年～7年
保証人	【個人企業】原則として1名以上 【法人企業】原則として代表者及び1名以上 ※審査委員会の結果によっては、保証人の追加が貸与条件となる場合があります	
保証金	契約金額の5% （最終年の元金と利息に充当します）	不要
その他必要経費	固定資産税・損害保険等の保険料	特になし
所有権等	完済までは公社が所有権者となります	所有権者は公社となります

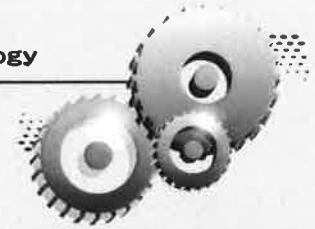
必要書類（書類審査） ※申込から貸与決定まで概ね1ヶ月程度を要しますので、早めのご相談をおすすめします。

- 直近3ヶ年分の決算書（付属明細含む） ● 設備見積とカタログ ● 借入金返済予定表
- ※書類審査後、残高証明書等の追加資料をご提出いただく必要があります。

— お気軽にお問い合わせください — Tel : 098-859-6236

 公益財団法人沖縄県産業振興公社 総務部 融資課

〒901-0152 沖縄県那覇市小祿1831番地1 沖縄産業支援センター4階 E-mail: yo@okinawa-ric.or.jp



## 平成27年度 入学式を挙行いたしました

沖繩高専では、平成27年4月4日本校体育館において平成27年度入学式を執り行いました。

式では、新入生の一人一人の名前が各学科担任・専攻科長より読み上げられ、本科166名、カンボジアからの留学生1名(3年次編入学)、専攻科生17名、計184名の入学が許可されました。

その後、入学生を代表して生物資源工学科の新垣さくらさんが「学生の本分を全うする」と力強く宣誓を行いました。

安藤安則校長の告辞では、「皆さんは、将来、高度な先端技術を身につけた実践的技術者として成長し、技術イノベーションを創造する、あるいは新しい技術を開発する可能性を秘めています。失敗しても、日々の努力を惜しまぬことです。その姿勢をわすれずに何事にも果敢にチャレンジし、自分の可能性を追求していただきたい」との言葉が贈られました。

引き続き、来賓の稲嶺進名護市長、湧川昌秀本校産学連携協力会会長並びに大瀨安典本校後援会会長からご祝辞があり、新入生は緊張した面持ちで気持ちを新たにしていました。



入学式の風景



告辞を述べる安藤校長

## 「平成27年度 沖繩工業高等専門学校産学連携協力会理事会・総会・懇親会」を開催しました

平成27年度沖繩工業高等専門学校産学連携協力会(会長 湧川昌秀)の理事会・総会・懇親会を4月13日(月)にロワジールホテル那覇にて開催しました。

総会では湧川会長の「本県の自立型経済の構築に向けた地域振興には、産学官連携による既存技術の向上や、特性を活かした新たな技術の創出と人材の育成が必要」との挨拶の後、「平成26年度事業報告」、「平成26年度収支決算報告」、「平成27年度事業計画案」、「平成27年度収支予算案」、「平成27年度役員選出案」を審議し、承認されました。最後に安藤校長から、産学連携協力会員のご支援、ご協力についてお礼の挨拶がありました。

引続き開催された懇親会では、湧川会長の挨拶の後、内閣府沖繩総合事務局経済産業地域経済課長 平良浩二氏の来賓挨拶、乾杯の音頭を株式会社カヌチャベイリゾート代表取締役社長 白石武博氏よりいただき、また、今年度より開設された航空技術者プログラムに関連し、全日本空輸株式会社沖繩支店支店長 前谷哲郎氏よりお話をいただきました。その後も沖繩高専の教員等の紹介が行われるなど、和やかな雰囲気の中で会員相互の交流を深めました。



理事会の様子



懇親会の様子



湧川会長による議案進行



沖繩高専教職員紹介の様子

### お問合せ先

沖繩工業高等専門学校産学連携協力会事務局(担当:喜屋武)

〒905-2192 沖縄県名護市字辺野古905番地

TEL:0980-50-0133 / FAX:0980-55-4012 E-mail:sangaku@m1.cosmos.ne.jp



## ～新校長のご紹介～ (社会に役立つ知的技能・技術者を育てる)

平成27年4月1日に、沖縄職業能力開発大学校の新たな校長として、「宮城 隼夫校長」がご就任されました。そこで、今後お付き合い頂きます沖縄県工業連合会の皆様へ、宮城校長のご紹介をさせていただきます。



### 宮城 隼夫校長(略歴)

昭和52年：琉球大学理工学部電気工学科助手採用  
 昭和57年：琉球大学工学部電子・情報工学科助教授  
 昭和58年：カリフォルニア大学バークレー校客員研究員  
 昭和62年：琉球大学工学部教授  
 平成16年：琉球大学工学部長、大学院理工学研究科長  
 平成19年：琉球大学理事・副学長等を歴任。  
 平成27年：沖縄職業能力開発大学校 校長就任

【趣味】武術研究 【特技】ハーモニカ、琉球古手  
 (関連著書「琉球秘伝・女踊りと武の神髄」、海鳴社)→



### 宮城隼夫校長から工業連合会会員の皆様へのメッセージ

このたび、沖縄職業能力開発大学校に赴任しました宮城隼夫でございます。どうぞよろしくお願い致します。本大学校(沖縄ポリテクカレッジ)は、社会や産業界が必要とする技能・技術を、実際のものづくりを通して学習させている教育機関です。

当校には、高卒後2年間実践技術を学ぶ専門課程とさらに2年をかけて技術と知識を深める応用課程があります。すなわち、専門課程では実用的な技能・技術者、応用課程は生産現場

のリーダーの育成を行っています。また、在職者に対する訓練、地域社会・産業界への技術情報の提供、共同開発などを実施しています。私たちは地域社会のニーズをくみ取り、日々変化する技術社会の要請に応えるべく努力してまいります。

工業連合会の会員の皆様には変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 校長の一日

大学校内の風通しを良くしようという校長の希望から、各科教員との懇談会を実施しています。懇談会では、校長から職員専門性、各科の課題や学生の様子などについて質問がされ、職員からは各科の学生の様子や校長にお願いしたいこと等が伝えられました。産業界とのつながりを深め地域に貢献することが大学校の役割という共通認識が出来た有意義な懇談会となりました。



\*地域企業の皆さんと一緒に“ものづくり”を行っていきたくと考えています。技術的相談等お気軽にお寄せください。

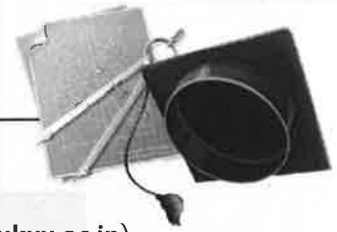
### お問合せ先

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 沖縄職業能力開発大学校

〒904-2141 沖縄県沖縄市池原2994-2 TEL.098-934-6282・FAX.098-934-6287

<http://www3.jeed.or.jp/okinawa/college/> ●メルマガ会員募集中 <http://www.jeed.or.jp/merumaga/index.html>

# 琉球大学工学部後援会からのお知らせ



## 波力および潮流による海洋エネルギー

鈴木正己 (琉球大学工学部機械システム工学科・教授 m-suzuki@tec.u-ryukyu.ac.jp)

### 研究の紹介

海洋国である我が国、取り分け沖縄はエメラルドグリーンの海に囲まれ、海洋エネルギーに恵まれています。このきれいな海を維持しつつ、持続可能なエネルギー供給源の担い手として、波力や潮流、海流、潮汐、洋上風力などの海洋エネルギーに期待が寄せられています。本研究室ではこの波力発電や潮流発電、洋上風力発電に関する研究を進めています。図1は防波堤に設置された波力発電装置を示しています。

波の上下動を防波堤前面の空気室を介して空気の往復流に変換し、この往復空気流で空気室上部のタービンを駆動し発電するシステムとなっています。ここで特徴的な点は往復流中でも常に同一方向に回転できるタービンです。通常のタービンは流れの向きが変わると回転方向も変化し、一方方向に回転することができません。このため、流れを一方にする整流弁が必要になりますが、ここに用いられるタービンは整流弁がなくとも同一方向に回転できるよう、左右が対象な形状になっています。代表的なものに図2に示すウェルズタービンや波力発電用の衝動タービンがあります。この特殊さゆえに、最大効率は通常のタービンよりも低くなりますが、往復流中の平均効率は高く、整流弁を必要としないなどの利点を有しています。

図3は潮流や海流、風力発電に用いられるプロペラ翼です。これらの特性や性能を把握し、高性能なタービンを開発するため、計算機により解析する数値流体計算(CFD)のプログラム開発を行っています。CFDは計算機の高速化とともに発展し、研究開発や設計のツールとして、今では重要な地位を占めるようになってきました。

図3はCFDにより解析を行ったプロペラ翼まわりの流れを示しています。流れがプロペラに当たる角度や翼形状により、翼面上の流れが変化し、性能に影響を与えています。

将来への希望を胸に、きれいな海と持続可能な再生可能エネルギーの利用による自然との共生を考え、大きな破壊力をしなやかに受け流す構造を創造しつつ研究に取り組んでいます。

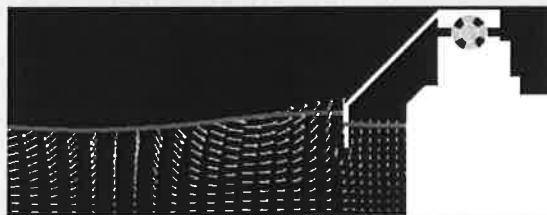


図1 防波堤設置型波力発電装置

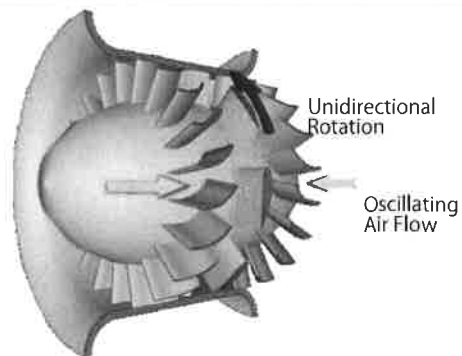


図2 ウェルズタービン

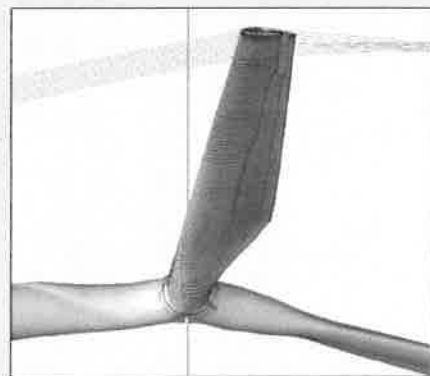


図3 CFDによるプロペラ翼まわりの流れ

お問合せ先

琉球大学工学部後援会事務局(機械システム工学科内)

TEL:098-895-8632・8623 FAX:098-895-8636





## 硬く、崩れる錠剤状食品をつくる!?

食品・化学研究班

### いろいろな健康食品のかたち

健康食品は一般的な食品の形態のほか、保存性や携帯性、摂取のしやすさ等から様々な形態がとられています。

その中でも錠剤は、コンパクトで摂取しやすく、低コストであること等を理由に健康食品ではよく採用されています。



錠剤状



ハードカプセル



ソフトカプセル



粉末・顆粒



液状

### 錠剤は...

#### 硬くなければいけません!

流通の過程で衝撃や振動を受けるため、一定の硬さがなければ容器内で割れたり欠けたり、元の粉に戻ってしまいます。



硬

例えば、“のり”の役割を持つ結合剤を添加、増やしていくことで硬さは向上していきますが、反面、崩れやすさが低下していきます。

#### 崩れなければいけません!

摂取した錠剤は、体内で一定時間内に崩れなければ十分に力を発揮できません。



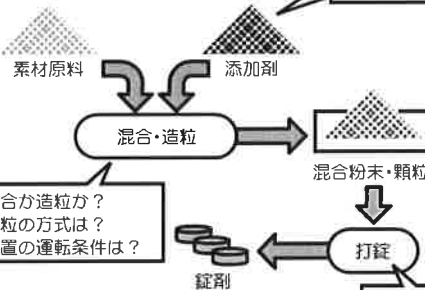
崩

### 工業技術センターでは...

同じように造った錠剤でも、原料が異なると硬さ・崩れやすさは違ってきます。

同様に、同じ原料を使っても添加剤の種類や割合、装置の運転条件等により硬さ・崩れやすさは違ってきます。

工業技術センターでは、右図の様な技術要素について検討を重ね、硬さと崩れやすさのバランスのとれた錠剤の製造に関する研究を実施しています。



添加剤の種類は?  
添加剤の割合は?

混合か造粒か?  
造粒の方式は?  
装置の運転条件は?

錠剤の形・大きさは?  
装置の運転条件は?

### こんな錠剤が作れるように

エンサイを原料とした錠剤について、添加剤の割合を大幅に減らしながらも適度な硬さを持つ錠剤状食品の製造方法を確立しました。

従来技術



添加剤の割合: 30~40%

新技術



添加剤の割合: 1%



### お問合せ先

沖縄県工業技術センター 企画管理班 (担当: 中村)  
TEL:098-929-0111 FAX:098-929-0115 E-mail:nakmurej@pref.okinawa.lg.jp



## 2015年 泡盛の女王が訪問

2015年泡盛の女王が4月16日(木)に本会を訪問。今年の泡盛の女王には、渡嘉敷 渉さん、與那嶺 真子さん、大城 美優さんが選出された。それぞれ泡盛のPR活動を一年間、県内外のイベントなどで泡盛の伝統と沖縄の美しさを広く知らしめていく。



写真左から、大城 美優さん、  
與那嶺 真子さん、渡嘉敷 渉さん

## 沖工連青年部会 会員募集中!

青年部会は親睦会や勉強会等の活動を通して、工業界の青年層が気軽に情報交換できる会を目指しています。

- 加入資格 / 公益社団法人沖縄県工業連合会会員の  
役員及び従業員で45歳迄
- 会費 / 入会金10,000円、年会費20,000円
- 会員数 / 22名(2014年9月現在)



お問合せ先: 公益社団法人沖縄県工業連合会 TEL.098-859-6191 (担当: 小浜)

## 公益社団法人沖縄県工業連合会 会員募集のご案内

公益社団法人沖縄県工業連合会は、昭和28年5月に「沖縄県における工業の育成及び振興を図り、もって県経済の発展に寄与する」ことを目的に創立されました。現在では、製造業を中心に約400社の会員を有し、毎年7月の「県産品奨励月間」や「沖縄の産業まつり」などをとおして、県内製造業並びに関

連産業の振興発展に寄与するため鋭意努力しております。本会の主旨に賛同していただける方なら規模の大小は問いませんので、ご入会をお待ちしております。お気軽に事務局までお問合せください。

### 会員への主なサービスならびに特典

- 機関誌「工連ニュース」や電子メール等による各種情報サービスの提供
- 経営者や従業員を対象とした講習会、技術・経営セミナーなどの案内
- 公設試験研究機関との連携による技術力向上に関する事業などへの参加
- 県産品奨励月間事業(7月)における国・県・市町村、食品・建材大口需要者などに対する要請活動への参加
- 「県産品マーク」の取得
- 本会のインターネットホームページによる会員企業の紹介
- 「沖縄の産業まつり」の出展料の優遇
- 従業員表彰制度の活用(優良従業員・創意工夫功労者・優秀技能者)
- (一社) 沖縄県発明協会との連携による産業財産権に関する情報提供など



## 会員の皆様へ 「工連ニュース」で自社の商品をアピールしてみませんか?

会員の皆様方には平素より本会機関誌「工連ニュース」の事業活動についてご理解・ご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

「工連ニュース」では会員サービスの一環として会員の新品などを紹介するコーナーを設けています。事業のPR、新商品の紹介などに積極的にご利用下さい。

●お問合せ先  
公益社団法人沖縄県工業連合会 TEL.098-859-6191 担当: 座間味



沖縄県産品  
マーク表示制度  
について

# 自社製品のピーアールに 「県産品マーク」を 使用してみませんか？

公益社団法人 沖縄県工業連合会



県産品マークとは…

県内で製造・加工された県産品に、「沖縄県産品マーク」を表示することによって、消費者等が県産品と県外産との識別を容易にさせていただくと同時に、消費者と安心・安全な県産品をつなぐ有効な手段として、公益社団法人沖縄県工業連合会が昭和61年に「沖縄県産品マーク表示制度」を定めたものです。現在では、食品、生活用品、建設資材、工芸品など多くの県産品に利用されています。

## 1 沖縄県産品マーク表示申請資格

- (1) 県内で事業を営む業者であって本会の会員であること。
- (2) 県内で製造された製品で本会が認めたもの。
- (3) 製造、又は販売について法令の定めるところにより許可を必要とする場合は当該許可等を受けたものであること。

## 2 沖縄県産品マーク表示対象品

県内で生産・製造、又は主たる加工がなされた加工品、家庭雑貨、工芸品、建材等、沖縄県産品マークの表示を必要とする全ての県産品。

## 3 申請方法

所定の表示申請書を作成し本会へ申請する。

## 4 申請料金

1製品につき30,000円



県産品マークに関するお問い合わせ/公益社団法人沖縄県工業連合会 TEL:098-859-6191 担当:仲間

県内唯一!

# サッシ形材製造

秀 金秀アルミ工業株式会社

## 金秀雨戸



金秀アルミ

検索

沖縄の気候風土に合った製品を提供!

サッシ・  
雨戸の専ら



金秀アルミに



カ・チ・カ・セ



ホテルオリオンモトブリゾート&スパ

モトブオリオンリゾート&スパ、那覇新都心リュークスタワー、  
リーガロイヤルグラン沖縄の施設等で我が社の製品が採用されています!

那覇新都心に完成した地上30階建ての「リュークスタワーマンション」で採用されました主力製  
品「ハイパーサッシ」は、当社風洞試験において「96m/秒」相当の風圧に耐えられる事が実証され  
ています。

秀 金秀アルミ工業株式会社  
<http://kanehide-alumi.com/>

管理本部 098-835-8100  
営業本部 098-835-8101・8102  
生産本部 098-835-8104・8105